

「減反廃止」に不安高まる 安倍政権の「農政改革」に対決を

TPP見越した農政の大転換

説明会に500人

安倍内閣が2014年度から米の生産調整見直しを打ち出す中で、鶴岡市農業振興協議会が主催する農林水産省の説明会が22日、グラウンドエル・サンで開かれました。

生産者や農協関係者ら約500人が詰めかけ会場一杯になり、農政転換に対する農家の不安がかつてなく高まっています。

農水省生産局穀物課水田農業対策室の常葉光郎室長が、「減反の廃止ではなく見直し。生産調整はある」「新たな

直接支払交付金は水田のフル活用と食糧自給率の向上を図る狙い」

「飼料用米・米粉用米は10㌥5万5000円から10万5000円と収量に応じて助成額が変わり、真面目にやる人にそれなりに支払うように変える」と話しました。

安倍首相が明言

明らかに政府は、TPP参加によって外国産米の輸入が増えることを見越し、5年後には国内での生産調整を廃止する方針を決めたもので、農政の「大転換」です。

安倍晋三首相が24日の国会での施政方針演説で、「40年以上続いてきたコメの生産調整を見直します。いわゆる

「減反」を廃止します。需要のある作物を振興し、農地のフル活用を図ります。」と明確に減反廃止を打ち出しました。

また、その2日前の22日にダボス会議(世界経済フォーラム(WFF)年次総会)でも首相は、「コメの減反を廃止します。民間企業が障壁なく農業に参加し、作りたい作物を、需給の人為的コントロール抜きに作れる時代がやってきます。」「既得権益の岩盤を打ち破る、ドリルの刃になるのだ」と基調講演しました。

打ち破る「岩盤」

農業における「岩盤」とは、戸別所得補償制度、つまり国の生産調整に沿って減反を選択した農家に対して生産費を補償する制度であり、米価の下支えです。さらに小規模農家も含めた協同組織である総合農協であり、解体されてきたとはいえ、

企業の農業参入を規制している農地法のことです(09年農地法改正で、賃貸であれば企業の農業参入がすべて可能になったが企業の農地所有はできない)。

企業のための農業

安倍総理が「民間企業が障壁なく農業に参入」でき、「人為的コントロール抜きに作れる

時代」にするというのですから、政府が米の安定供給の責任を放棄し、減反に対する一切の支援を止め、中小農家をつぶして大規模経営だけに政策を集中し、農協を解体し、農業に営利企業を参入させ、「日本は、『世界で一番企業が活躍しやすい国』を目指す」(安倍総理の所信表明演説)ということですが。

「岩盤」がなくなれば米価は下がる

農家にとって最も心配されることは、今年産米から減反補助金が半減され、5年後にはゼロになり、そうなれば、減反に協力する人は減り、生産量が増えます。米価が下がるだろうと予想されることです。

大きい農家ほど大打撃となるのは確実です。農産物の場合、過剰のもとでの市場競争は、「岩盤」がなくなれば生産費を割り込んでも価格下落となるのが経済法則です。

対決し家族農業を守る

米生産費は60kgあたり全算入生産費で1万5957円(平成24年産、農水省12/12公表)。米価は、米業者どうしの相対取引価格を見ると、9月から新米の価格になり、8月の昨年産1万6127円から1万4871円に1256円も大幅に下落し、10月はさらに119円下がり、11月はさらに115円下がり、1万4637円へ生産費を割り込んで続落しています(森島賢「正義派の農政論」農業協同組合新聞に連載)。

業者は米過剰を予想し、米価を下げてきているのは明らかであり、これに減反補助金の半減となれば経営規模の

農家にとつていま必要なのは安倍政権の「農政改革」に対決すること、TPP交渉からの撤退と「農地中間管理機構」などを通じた営利企業の参入を許さないたかいです。鶴岡市にもイオングループによる契約農場の動きなど大企業の参入が動き始めています。今年は国連が定めた「国際農家年」です。水田をはじめ多様な農家経営によって支えられてきた地域農業と集落の維持、国土・環境を維持し、少量多品目生産など地域の条件を生かした農業振興の取り組みをいっそう発展させることです。



農水省の米政策見直し説明会に500人参加(22日エル・サン)
(写真・市農政課)

カネで心は売り渡せない！

元自民党沖縄県議会議長仲里さん
「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

注目の沖縄名護市長
選は、「辺野古新基地ノ
ー」を訴えた稲嶺さん
が大差で圧勝し再選さ
れた。1月26日号赤旗
日曜版は、元自民党沖
縄県議会議長の仲里利
信さんの表題の談話を
一面トップに載せてい
る。表題を見た私は、
すぐ「土地に杭は打た
れても心に杭は打たれ
ない」と、心意気を示
した1950年代後半
の砂川(基地拡張反対)
闘争を思い起こした。

沖縄県民はしっかりと
た考えを持っていないと
証明できた。石破幹事
長は500億円の「名
護振興基金」を持ち出
した。金で心売ると
思ったのか、大変失礼
なことだ。

毎日新聞(1月20日
付)は、「アメとムチ」

通用せず」という解説
を一面に書いています。
「アメとムチ」で民意
を誘導しようとした手
法が、沖縄では通用し
なかつたことを安倍晋
三政権は自覚すべき」
と言うのだ。「アメとム
チ」は「カネとオドシ」
と言ってもよく、権力
者が歴史的にも絶えず
使ってきた手法だ。自
民党県連、国会議員、
知事がなぜ公約を捨て
たのか、安倍政権はど

仲里さんは語る。毎
日街頭で訴えた。自民
党県連、国会議員、知
事まで「県外移設」公
約を撤回したことで、
沖縄の人は金を出せば
言うことを聞くと思わ
れた。しかし、今回の
勝利で、それは違う、

稲嶺さん 圧勝再選
市長権限で拒否する

「カネで心は売り渡せない」
元自民党沖縄県議会議長
仲里 利信

10(11)面の特集

赤旗日曜版 1月26日号 1面

筵巻き貫禄いよよ松の胴

工藤 博司

「雪囲い」は、一冬を越す上で
大事な仕事。雪がそれほど深くな
いところでは、植木に簡単に縄を
ぐるぐる巻きにするぐらいで済ま
せられるが、豪雪地帯となればそ
うもいかない。枝の一本一本が大
切なので、しっかりと縄を張って吊
るすか、全体を拵(も)などで巻かなけ
ればならない。庭の広いところで
は大変な仕事になる。

雪囲いで印象に残るのは、鶴岡
公園の松の幹・胴を筵(むしろ)でしっか
り巻きつけた光景である。筵で巻

くことによつて、寒さを防ぐと共に、
春先になって筵のまま焼いてしまうのである。
害虫対策のひとつに
なる。鶴岡公園の歴史ある黒松にきつちり筵が巻かれた姿は、いやが上
にもその貫禄があがるというもの。



(画・加藤貞雄)



渡前地区恒例の「地ふぶき祭り」は26日、寒中の雨で
したが凧上げは外で、競技は体育館でおこなわれ、弁
慶めしや豚汁で楽しい昼食会となりました。



のようにして捨てさせ
たのか。これまでも活
躍してきた「赤旗取材

班」の実態究明を期待
したい。



文書が無くなる

なぜ紛失や誤廃棄が
あるのだろう。23日の
テレビ報道を翌日に新
聞で確かめたのだ。そ
れによると、国の文書
が255件も無くなつ
たというのだ。どんな
管理の仕方かと思議
に思うのが、公文書管
理法に基づく公文書管
理委員会が調べたのだ
という。

年より74件も増えたと
か。
▼文書は、連絡みたい
な簡単なものから指示
命令・秘などあるが、
それなりに重要なもの
の数なのだろう。

▼財務相を除けば、国
民の権利・義務・人権
に関わる省庁と言える
が、無くなつたものに
傾向や恣意的なもの
はなかつたのだろうか。
▼それが無いにしても
国税庁・法務・警察・
検察とくれば、独自の
強力な権力を持つてい
る部署だぜ。これだけ
でも傾向がはつきりし
ていると思うのだが。

▼この件での処分は、
懲戒が5件で残りは注
意や指導というから、
キーツケレヤで終わつ
たのが多いようだ。上
司の指示でやつたもの
もあつたらうが、どの
辺りが処分されたのか
は不明だ。

▼俺の時計知らねがー
ナンテのは日常茶飯事
ながら、なくなつた物
がはつきりしている。
しかし、文書が無くな
れば、何が書いてある
ものが無くなつたかわ
からないのではないか。
▼どんなことから無く
なつたことがわかるの
だろう。無くなつたも
のが何かわかればこの
節のこと、再生できる
だろうがネー。一番多
いのが126件で国税
庁、法務省が61件、警
察庁29件、検察庁と財
務相が共に11件で、前

▼秘密保護法が施行さ
れば、もうこのよう
なことはテレビに出な
くなるだろうぜ。(石川)